

森林整備等への民間資金活用調査実証事業（新規）

【平成26年度概算決定額 100,000（一）千円】

事業のポイント

民間資金を活用した森林の整備等を進めるため、企業等に魅力あるメリットを付与するなどの新たな仕組みの構築に向けた検討を実施します。

<背景>

- ・将来にわたって二酸化炭素吸収機能をはじめとする森林の多面的機能の発揮を図るためには、森林の整備・保全に係るコストを社会全体で負担していく必要があります。
- ・民間資金の活用を進めるためには、森林整備等への協力に対する企業等の潜在的意欲を引き出す効果的な仕組みを構築することが重要です。

政策目標

- 国際的に合意された森林吸収量算入上限値（基準年（1990年）総排出量比3.5%）を達成します（25年度～32年度の平均）。

<内容>

民間資金を活用した森林整備の国内外の制度・事例の調査、民間資金の活用に対する企業・国民の意識や関心についての情報収集・分析等を行うとともに、次年度以降の実証に向け、企業の業種等に応じた類型別に森林整備への協力が企業経営にもたらす効果の分析や企業ニーズの詳細把握等を実施します。

<委託先>

民間団体

<事業実施期間>

平成26年度～平成28年度

[担当課：林野庁森林利用課]